

授業科目等の概要

(工業専門課程一級自動車工学科)															
分類	必 修	選 択 必 修	自由 選択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	授業方法				場所		教員 専 任 兼 任	企業 等 の 連 携
								講 義	演 習	実 験 ・ 技 術 実 習 ・ 実	校 内	校 外	専 任		
	○			自動車工学 (エンジン構造 1A)	4ストローク1サイクルガソリンエンジンおよびディーゼルエンジンの構造、作動(本体、潤滑、冷却、制御等)の理解。	1 前	25.2	○			○		○		
	○			自動車工学 (エンジン構造 1B)	4ストローク1サイクルガソリンエンジンおよびディーゼルエンジンの構造、作動(本体、潤滑、冷却、制御等)の理解。	1 前	18	○			○		○		
	○			自動車工学 (自動車工学 1A)	自動車の基本的な構造、構成部品を理解と、力学や数学、図面などの理解を図る。	1 前	14.4	○			○		○		
	○			自動車工学 (自動車工学 1B)	自動車の基本的な構造、構成部品を理解と、力学や数学、図面などの理解を図る。	1 前	16.2	○			○		○		
	○			自動車工学 (自動車工学 1C)	自動車の基本的な構造、構成部品を理解と、力学や数学、図面などの理解を図る。	1 後	16.2	○			○		○		
	○			自動車工学 (自動車工学 1D)	自動車の基本的な構造、構成部品を理解と、力学や数学、図面などの理解を図る。	1 後	16.2	○			○		○		
	○			自動車工学 (シャシ構造 1A)	動力伝達装置(トランスミッション、ディファレンシャル、サスペンション等)を構成する各機構の構造、差動の理解。	1 前	28.8	○			○		○		
	○			自動車工学 (シャシ構造 1B)	動力伝達装置(トランスミッション、ディファレンシャル、サスペンション等)を構成する各機構の構造、差動の理解。	1 前	23.4	○			○		○		
	○			自動車工学 (電装品構造 1A)	自動車の電気・電子の基礎理論と計算、計器・装置(充電、始動、点火等)の構造、差動の理解。	1 前	14.4	○			○		○		
	○			自動車工学 (電装品構造 1B)	自動車の電気・電子の基礎理論と計算、計器・装置(充電、始動、点火等)の構造、差動の理解。	1 前	21.6	○			○		○		
	○			自動車工学 (エンジン構造 1C)	4ストローク1サイクルガソリンエンジンおよびディーゼルエンジンの構造、作動(本体、潤滑、冷却、制御等)の理解。	1 後	19.8	○			○		○		
	○			自動車工学 (エンジン構造 1D)	4ストローク1サイクルガソリンエンジンおよびディーゼルエンジンの構造、作動(本体、潤滑、冷却、制御等)の理解。	1 後	14.4	○			○		○		
	○			自動車工学 (シャシ構造 1C)	動力伝達装置(トランスミッション、ディファレンシャル、サスペンション等)を構成する各機構の構造、差動の理解。	1 後	23.4	○			○		○		
	○			自動車工学 (シャシ構造 1D)	動力伝達装置(トランスミッション、ディファレンシャル、サスペンション等)を構成する各機構の構造、差動の理解。	1 後	23.4	○			○		○		
	○			自動車工学 (電装品構造 1C)	自動車の電気・電子の基礎理論と計算、計器・装置(充電、始動、点火等)の構造、差動の理解。	1 後	18	○			○		○		
	○			自動車工学 (電装品構造 1D)	自動車の電気・電子の基礎理論と計算、計器・装置(充電、始動、点火等)の構造、差動の理解。	1 後	23.4	○			○		○		
	○			整備機器取扱い 1A	自動車を整備する上での工具、測定具(ノギスマイクロメータ、ダイヤルゲージ等)の構造、取り扱い、保守等の理解。	1 前	12.6	○			○		○		
	○			整備機器取扱い 1C	①作業用機器 ②エンジン点検・調整機器 ③電装装置検査・調整機器、測定具の構造、取り扱い、保守等を理解。	1 後	14.4	○			○		○		
	○			お客さま対応授業1	・就職先の日産販売会社で即戦力となれるように日産対応スタンダードを身に付ける。 ・社会人として通用する接客の基本を身に付ける。	1 前	14.4	○			○		○		
	○			基礎計算確認試験	・国家試験に出題される計算問題を解けるようにする ・解ける(分かる)喜びを体感し学習意欲を促進する。	1 前後	5.4	○			○		○		
	○			学科統一試験	・国家二級資格に向けて学習の合いを定期的に確認する	1 前後	3.6	○			○		○		
	○			就職授業	就職活動に向けて年間を通して計画的に準備を行う。 ・社会に出る前の準備として職業観及び就労観の醸成を図る。 ・日産販売会社、TSの仕事の日産の歴史などについて学ぶ。	1 通期	9	○			○		○		
	○			自動車整備作業 (エンジン分解 組立1)	1. 分解作業によりエンジンの構造を理解し、分解した部品の作動役割を理解する。 2. 組立作業により各部品の締め付けトルクを理解する。	1 前	28.8			○	○		○		
	○			自動車整備作業 (エンジン分解 組立2)	1. 分解作業によりエンジンの構造を理解し、分解した部品の作動役割を理解する。 2. 組立作業により各部品の締め付けトルクを理解する。	1 前	28.8			○	○		○		

25	○		自動車整備作業 (電制点検整備1)	1. 電子制御の基本回路を読み、点検ができる。 2. 各センサの出力電圧の数値及び特性を理解し、電子制御部品の脱着交換ができる。 3. 電子制御エンジン（ECCS）の基本構造を理解する。 4. システム図からエンジン構成を理解する。 5. 回路図を読み理解する。	1 後	32.4					○	○	○							
26	○		自動車整備作業 (ジーゼルエンジン構造)	1. ジーゼルエンジンの内部構造を理解する。 2. ジーゼルエンジン主要部品の名称、構造、作動、特徴を理解する。 3. ジーゼルエンジンのシリンダヘッド脱着整備手順と注意項目を習得する。	1 後	32.4						○	○	○						
27	○		自動車整備作業 (電制点検整備2)	1. 電子制御の基本回路を読み、点検ができる。 2. 各センサの出力電圧の数値及び特性を理解し、電子制御部品の脱着交換ができる。 3. 電子制御エンジン（ECCS）の基本構造を理解する。 4. システム図からエンジン構成を理解する。 5. 回路図を読み理解する。	1 後	32.4						○	○	○						
28	○		自動車整備作業 (M/T分解組立)	1. クラッチの基本構造を理解する。 2. トランスミッションを分解組立することで基本構造を理解すると共に作業の基本を学ぶ。	1 前	28.8						○	○	○						
29	○		自動車整備作業 (ブレーキ脱着)	1. フロントブレーキパッドの点検、交換作業が出来る。 2. リヤドラムブレーキの点検、交換が出来る。 3. パーキングブレーキの点検、交換、調整が出来る。 4. ブレーキのエア抜き作業が出来る。 5. マスターバックの機能点検が出来る。	1 後	32.4						○	○	○						
30	○		自動車整備作業 (アクスル脱着)	1. フロントストラットの脱着を体験する。 2. フロントストラット構造を理解する。 3. サスペンションの脱着を体験する。 4. ライフシャフトの脱着を体験する。	1 後	32.4						○	○	○						
31	○		自動車整備作業 (M/T脱着)	1. クラッチ、ミッションの実車よりの脱着の習得。 2. 部品名称及び動力伝達経路を理解する。	1 後	32.4						○	○	○						
32	○		自動車整備作業 (T/A・デフ分解組立)	1. ドライブシャフトの構造・機能を理解する。 2. ファイナルギヤの構造・機能を理解する。 3. ディファレンシャルの構造・機能を理解する。 4. トランスアクスルの構造・機能を理解する。	1 前	28.8						○	○	○						
33	○		自動車整備作業 (電気計測)	1. オームの法則を使った、回路の計算と、抵抗値、電流値、電圧値の推理。 2. サーキット・テスタによる回路の測定。	1 前	28.8						○	○	○						
34	○		自動車整備作業 (電気装置1)	1. 回路図（机上）での故障診断ができる。 2. 灯火ボード故障診断ができる。	1 前	28.8						○	○	○						
35	○		自動車整備作業 (電気装置2)	1. バッテリー交換ができる。 2. バッテリー点検（比重、端子電圧、暗電流）ができる。 3. バッテリー（ブースター）ケーブルの取扱いができる。	1 前	28.8						○	○	○						
36	○		自動車整備作業 (電気装置3)	1. 始動装置の構造、作動を理解する。 2. 始動装置の構造、作動を理解する。	1 後	32.4						○	○	○						
37	○		自動車整備作業 (電気装置4)	1. 充電装置の構造、作動を理解する。 2. 自動車の電気計器の構造、作動を理解する。	1 後	32.4						○	○	○						
38	○		自動車整備作業 (電装実習)	1. 電装品の故障診断が一人で出来る。 2. 基本的な回路点検を、テスターを使用して行い、不具合箇所の特定が出来る。	1 後	32.4						○	○	○						
39	○		自動車整備作業 (車両取扱)	1. ジャッキアップの作業方法と、そのときの注意点を理解させ、危険予知ができる。 2. タイヤ脱着の基本手順を学び、作業姿勢、工具選択の重要性を理解させる。 3. 基本的な点検の必要性を理解し、点検及び交換作業・良否判定ができる。	1 前	28.8						○	○	○						
40	○		工作作業 (機械工作 & 部品計測)	1. 安全作業、自動車整備における計測作業の必要性、重要性を理解する。 2. 各計測機器の正しい取扱、各測定器の正しい読み取り。	1 前	28.8						○	○	○						
41	○		測定作業 (部品計測 & 機械工作)	1. 安全作業、自動車整備における計測作業の必要性、重要性を理解する。 2. 各計測機器の正しい取扱、各測定器の正しい読み取り。	1 前	28.8						○	○	○						
42	○		自動車検査作業 (1年点検)	1. 1年点検の習熟 2. オイル交換の習熟 3. ケミカルパーツの交換 4. 点検の一連の作業が効率よく行なえる。 5. お客様対応が出来る	1 後	48.6						○	○	○						
43	○		自動車工学 (エンジン整備2A)	1. ジーゼルエンジンの燃料装置の構造、作動を理解する 2. 4ストローク1サイクルガソリンエンジンの構造、作動を理解する 3. ガソリンエンジンの電子制御装置の基本を理解する 4. ジーゼルエンジンの分配型インジェクションポンプを理解する	2 前	23.4		○				○	○	○						

65	○	自動車整備作業 (エンジン車両 整備2)	1. 実車搭載の吸排気系の脱着方法について 体験する。 2. 補機ベルトの脱着およびベルト張力の調 整方法を習得する。 3. スターターの脱着方法を習得する。 4. 部品検索 (FAS T) 方法について習得 する。	2 前	32.4						○	○	○						
66	○	自動車整備作業 (T S 3級エンジ ン・シャシ)	1. コンサルトIII plusによる自己診断が実施 でき、表示できる。 2. 故障コードの意味を理解している。 3. 診断結果から故障部位が見つけれ、修 復できる。 4. 記憶消去の手順を理解している。	2 後	21.6						○	○	○						
67	○	自動車整備作業 (FR A/T分解組 立)	1. F R式 A Tの分解組立と構成部品の構造 及び作動の理解 2. 自己診断	2 前	32.4						○	○	○						
68	○	自動車整備作業 (FF A/T分解組 立)	1. F F式 A Tの分解組立と構成部品の構造 及び作動の理解 2. 自己診断	2 後	32.4						○	○	○	○					
69	○	自動車整備作業 (CV T 分解組 立)	1. CV Tの分解組立と構成部品の構造及び作 動の理解 2. 自己診断	2 前	32.4						○	○	○						
70	○	自動車整備作業 (エアコン)	1. ゲージマニホールドの取り扱い、真空引 きとガス充填 2. 圧力点検、ファンモータ、コンプレッ サ、電動ファン等の各回路点検 3. 不具合現象の点検方法	2 前	32.4						○	○	○	○					
71	○	自動車整備作業 (実践実習)	1. ディスクブレーキの測定が正しく出来 る。 2. ブレーキに関する不具合現象と原因が分 かる。 3. 測定器の取り扱いと読み取りが、正しく 出来る。	2 後	21.6						○	○	○						
72	○	自動車整備作業 (電子制御1)	1. サーキットテスターで、暗電流、電圧降 下の点検と、結果からの正常・異常の判断。 2. 配線図から必要な回路を抜き出し、その 点検。 3. コンサルト (診断器) によるエンジン各 システムの自己診断が正しくできる。 4. エンジン電子制御システム部品 (セナ、アクチ ェータ) の脱着、交換	2 前	32.4						○	○	○						
73	○	自動車整備作業 (電子制御2)	エンジン電子制御回路 (エアフローメータ、 水温センサ、クランク角センサ、インジェク タ等) の故障探究	2 後	32.4						○	○	○	○					
74	○	自動車整備作業 (シャシ電装)	1. 電装品の故障診断が出来るようになる。 2. 基本的な回路点検を、テスターを使用し て行い、不具合箇所の特定が出来る。	2 前	32.4						○	○	○						
75	○	自動車整備作業 (電動パワート レイン基礎)	1. E V基礎教育の修了 (低圧電気取り扱 い講習修了) 2. 新車6ヶ月、12ヶ月点検が出来る。 3. 救急救命、A E Dの取り扱いが出来る。	2 後	21.6						○	○	○						
76	○	自動車整備作業 (マルチリンク 脱着)	1. アライメントの測定方法およびCCKゲー ジの取り扱い方法を習得する。 2. マルチリンクサスペンション (Rrサスペ ンションを含む) の脱着を通して構造を理 解する。 3. リヤ・インドラムの構造、脱着を理解、 習得する。	2 前	32.4						○	○	○	○					
77	○	自動車整備作業 (CV T脱着)	1. CV Tの脱着 2. CV Tの取り付け	2 通	32.4						○	○	○						
78	○	自動車整備作業 (車体分解組 立)	1. ボディ全般の脱着及び建付けを体験す る。 2. 内装部品の脱着を体験する。 3. 撥水加工を体験する。	2 後	32.4						○	○	○						
79	○	自動車整備作業 (T S 3級電 装)	1. 配線図集から必要な箇所を抜き取るス キルの向上 2. 回路図から、電気の流れを読み取れる能 力の習熟。 3. 故障現象から回路を読んで故障原因を 特定できる能力を習熟する。 4. 故障探究作業に必要な部品の脱着がで きるスキルの向上。	2 後	21.6						○	○	○	○					
80	○	自動車整備作業 (T S 3級応 対)	1. 24ヶ月点検 (マッハプロ車検) 完成車両の 引き渡し業務 (お出迎え～お見送り) がお客 さま目線で漏れなくできる。 2. お客さまへの商品説明および提案がで きる。 3. 追加作業の概算見積書の発行。	2 後	21.6						○	○	○	○					
81	○	自動車整備作業 (貨物車整備)	1. 貨物車のブレーキ分解組立、トランス ミッションの脱着作業 2. ブレーキの分解組立と点検 3. エアブレーキ各種装置の構造、作動の理 解と分解組立	2 前	32.4						○	○	○						
82	○	自動車検査作業 (2年点検)	1. 乗用車 24ヶ月点検の正しい点検方法お よび、お客さまに配慮した作業方法を習得す る。 2. 指定時間内 (90分以内) に点検、調整及 び部品の交換が一人でできる。 3. 帳票類の正しい記入ができる。 4. 販売会社で使用されているMOS MMS、及 び点検記録簿の記入方法を覚える。	2 後	46.8						○	○	○	○					
83	○	車体電装品整備	・電気の基礎を振り返り、正確な電圧、電流 抵抗の測定が出来る。 ・車両で電装関係の故障診断を実施するた めの基礎を振り返り修得する。	2 後	32.4						○	○	○						

84	○		自動車工学 (エンジンA)	1. 電子制御エンジンの実践的な故障診断技術の手法を身につける。 2. センサ、アクチュエータ、ECUの機能、異常検知方法などを覚える。	3 前	59.4		○		○	○					
85	○		自動車工学 (シャシA1)	A/Tの各センサ、アクチュエータ、ECUの機能、信号形態、異常検知法を覚える。	3 前	34.2		○		○	○					
86	○		自動車工学 (シャシA2)	オートエアコンの高度整備技術と応用知識を活用した実践的な故障診断技術の手法を覚える。	3 後	27		○		○	○					
87	○		自動車整備 (新技術A)	自動車における新技術(ハイブリッド、CNG、筒内噴射式ガソリンエンジン、コモンレール式高圧燃料噴射システム)の構造機能、点検、整備について理解する。	3 前	36		○		○	○					
88	○		自動車整備 (環境・安全)	1. 環境保全について法体系、具体的対処法を学ぶ。 2. 安全に関する知識、具体的取組法を学ぶ。	3 前	19.8		○		○	○					
89	○		自動車整備 (エンジンB)	1. CAN通信の概要、通信の仕組み、点検と診断を理解する。 2. ECUの制御を理解する。 3. エンジン電子制御装置の故障診断方法を理解する。	3 後	37.8		○		○	○					
90	○		自動車整備 (新技術B1)	1. CVTの構造、機能を理解する。 2. 上記機能の点検、整備方法を理解する。	3 後	10.8		○		○	○					
91	○		自動車整備 (新技術B2)	1. エアバックシステム、車両安定装置の構造、機能を理解する。 2. 上記機能の点検、整備方法を理解する。	3 後	21.6		○		○	○					
92	○		自動車整備 (総合診断)	1. サービス産業の概要、役割 2. 問診と整備結果説明	3 後	19.8		○		○	○					
93	○		自動車整備 (シャシB)	1. パワーステアリング、ABSなどの高度整備技術と応用知識を活用した実践的な故障診断技術の手法を覚える 2. センサ、アクチュエータ、ECUの機能、信号形態、異常検知法を覚える。	3 後	57.6		○		○	○					
94	○		機器の構造・取扱 (整備作業機器)	1. 電気・電子回路の構成と測定。 2. デジタル・サーキット・テストの特性を理解。 3. オシロスコープでの測定方法を理解。 4. 外部診断機の活用。	3 前	36		○		○	○					
95	○		自動車検査	検査機器(スピードテスタ、ブレーキテスタ、ヘッドライトテスタ、騒音計、サイドスリップテスタ、COHCスモーク、オバノメータ)の理解。	3 後	10.8		○		○	○					
96	○		自動車整備に関する法規	道路運送車両法、商及び民に関連する消費者契約法について理解を深める。	3 後	10.8		○		○	○					
97	○		サービスマネジメント (ビジネス文書)	ビジネス文書を書くための最低限の知識と短時間で作成するための技術の基本を学ぶ。	3 前	9		○		○	○					
98	○		サービスマネジメント (プレゼンテーション)	1. 人前で話せる力、伝える力を身につけることを大前提に置く。 2. 目的に合ったストーリーを論理的に構成し、伝える力を身につける。 3. プレゼンテーションスキル(一部)を身につける。	3 前	7.2		○		○	○					
99	○		サービスマネジメント (お客さま対応)	お客様対応力(ビジネスマナーや言葉遣い、電話の対応)コミュニケーション能力を身につける。	3 前	28.8		○		○	○					
100	○		サービスマネジメント (工場経営)	工場を取巻く環境、人を知り、工場の成立と仕事の構造を学び、工場経営についての概要を知ること、自ら考え、進んで行動することを旨とする。	3 後	9		○		○	○					
101	○		サービスマネジメント (整備業界知識)	日産を中心とした自動車および整備業界市場・マーケット規模およびシェアを学び、経営的視点を養う。	3 後	9		○		○	○					
102	○		サービスマネジメント (一般教養A1)	社会人になるための礼儀作法、話し方を身につける。	3 前	3.6		○		○	○					
103	○		サービスマネジメント (一般教養A2)	1. 社会人としての一般常識、文書構成力を身につける。 2. 自分が目指す、企業の研究をし客観的な比較ができる様にする。	3 後	25.2		○		○	○					
104	○		工作作業 (工作)	整備工場で使用する機械工具及び電気工具の取り扱いを習得。	3 前	23.4				○	○	○				
105	○		測定作業 (計測)	車両整備に必要な計測機器(オシロスコープ、メモリハイコーダ、コンサルト(診断器))の取り扱いを習得	3 前	23.4				○	○	○	○			
106	○		自動車整備作業 (車体電装)	1. コンビーションメーター読み取り機能の通信内容を確認し、点検方法、故障診断方法を修得。 2. CAN通信の通信内容を確認し、点検方法、故障診断方法を修得。	3 前	54				○	○	○	○			
107	○		自動車整備作業 (ECCS)	1. 制御系統別点検(燃料噴射制御、点火制御、アイドル回転数制御、フェューエルポンプ制御)をサーキットテスタにて測定。 2. 理論的な故障診断ができる。	3 前	59.4				○	○	○	○			
108	○		自動車整備作業 (AT)	A/T、CVTの電子部品の点検、不具合個所の特定ができる。	3 前	59.4				○	○	○	○			

109	○	自動車整備作業 (エアコン)	1. ケーブルテスター、ガス漏れ探知機等を使用し、冷凍サイクルの点検、不具合箇所の特定ができる。 2. サーマットテスト等を使用し、オートエアコンの点検、不具合箇所の特定ができる。	3 後	54							○	○	○	○	
110	○	自動車整備作業 (新技術)	1. VDC (ABS, TCS, VDC) の基本点検、車載自己診断及び外部診断器による自己診断 2. システム作動時の車両各部の信号を高速で記録し、そのデータより実際の制御状態を理解	3 後	54							○	○	○	○	
111	○	自動車整備作業 (騒音・振動)	車体、トリム等から発生している騒音・振動に対してテスタを活用して発生部位を絞り込み、発生部位を特定できる。	3 後	54							○	○	○	○	
112	○	自動車整備作業 (実践整備)	1. 車両からのエンジン脱着、エンジン分解整備ができる。 2. 分解途中に不具合の確認、点検ができる。	3 後	54							○	○	○		
113	○	自動車検査作業 (検査業務)	1. 検査作業を実施できる。 2. 検査機器の取り扱いができる。	3 後	10.8							○	○	○		
114	○	一般科目 (前期総合)	整備機器論、新技術A、エンジンA、シャシA、環境・安全で学習した内容を復習し自己の知識とする。	3 前	5.4			○				○	○	○		
115	○	一般科目 (後期総合)	前期・後期教科目で学習した内容を復習し自己の知識とする。	3 後	5.4			○				○	○	○		
116	○	サービスマネジメント (一般教養B)	1. 入社に向けて電話応対力を習得する。 2. 電話応対の基本を理解し身に付ける。	4 後	3.6			○				○	○	○		
117	○	自動車整備作業 (総合実習)	1. 確実な新車点検及び法定1年点検作業を身につける。 2. 時間を意識した正確な作業ができる。	4 前	158							○	○	○		
118	○	自動車整備作業 (高度故障探究)	各電子制御装置の理解を深め、難易度の高い故障診断に対応できるよう、知識・技術を身につける。	4 前	18							○	○	○		
119	○	体験実習	販売会社に赴いて、現場の作業を体験する。	4 前	202							○	○	○		
120	○	評価実習 (成果発表)	1. インターン研修中の個人課題を設定し、研修期間中に実際の現場で課題について情報収集をする。 2. 情報収集した内容をもとに発表資料を作成し、校内で発表することで学生のプレゼン力を高める。 3. インターン研修を通じて新たに気付いた自分の課題について残りの学生生活で取り組む機会とする。	4 前	64.8							○	○	○		
121	○	評価実習 (評価実習Ⅰ)	1. 確実な新車点検及び法定2年点検作業を身につける。 2. 時間を意識した正確な作業ができる。	4 前	64.8							○	○	○		
122	○	評価実習 (評価実習Ⅱ)	現場で行われる部品の交換作業を指示なしで行えるようにする。	4 後	64.8							○	○	○		
123	○	評価実習 (評価実習Ⅲ)	1. CONSULTⅢ、サーキット等を使用し、整備要領書に沿って不具合箇所の点検・判定・修繕ができる。 2. 不具合に対してお客様の立場に沿った整備結果説明が出来る	4 後	64.8							○	○	○		
124	○	評価実習 (E V ・新技術)	1. EV 特有構成部品の確認と実務に関連した知識を習得する。 2. 高電圧部品脱着時の各種注意事項と脱着時のｶﾞｰﾌﾞを確認する。 3. CONSULT-Ⅲ Plus を使用し、EV 特有の基本的な診断が出来る。	4 後	36							○	○	○		
125	○	評価実習 (一級総合Ⅰ)	1. 思考時間の使い方を理解し、必要な準備ができる。 2. 問診の基本項目を理解し、漏れなく質問できる。 3. 問診の基本項目の回答を受け、必要な追加質問ができる。	4 後	27							○	○	○		
126	○	評価実習 (一級総合Ⅱ)	1. 報・連・相・行程・資金管理、物品調達、プレゼンテーションスキル等今後に必要な素養を身につける。 2. 自動車について知識・理解を深める。 3. 折衝能力を身に付ける。	4 後	64.8							○	○	○		
127	○	評価実習 (一級総合Ⅲ)	1. 販売会社での一般整備項目の習熟を測る。 2. 高度オプション部品の取り付け作業を習得する。 3. お客様車両を想定し申し出(不具合)から故障探究が出来る。	4 後	176							○	○	○		
合計					0	科目	3879									単位(単位時間)

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件:	未履修(不合格)教科がない場合 期末試験(追試験)、再試験、判定試験の成績、出欠状況ならびに、素行状況を総合して行います。	1学年の学期区分	2期
履修方法:	・1,2年次: 学科は各期に二度、実習は各テーマ終了後に試験を実施し、70点以上で履修とする。 ・3,4年次: 学科、実習ともにテーマ終了後に試験し、70点以上で履修とする。	1学期の授業期間	25週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。